

めあてをもち 仲間と共に やりぬく子

明智小学校だより 「友愛」 令和5年度夏休み前号



めあてをもって、仲間と共にやりぬき、 大きく成長できた1学期！

校長 松井 克仁

今日で1学期が終わりました。子供たちは、教育目標「めあてをもち、仲間と共にやりぬく子」に向かって成長し続けた1学期間でした。

本校には、「挨拶」「学習」「掃除」の3つの自慢があります。児童会の運営委員会が中心となって行った「挨拶キャンペーン」では、児童玄関等で全校児童に挨拶を呼びかけました。そして、素敵な挨拶ができる仲間を昼の放送で全校に紹介し、そのよさを広げたことで、自分から進んで挨拶する仲間が増えてきました。「学習」では、



【5月の研究授業の様子(6年)】

どの学級でも一生懸命に授業に取り組みました。先生や仲間の話をよく聞いて、自分で考えたり、仲間と相談したりしながら課題を解決する力を付けました。「掃除」では、高学年が低学年に掃除の仕方を教えたり姿で示したりして、全校で「もくもく掃除」が

できました。このように、学級や全校の仲間と活動を共にする中で、学級全体が、学校全体が成長するとともに、一人一人も成長できた1学期間でした。

これらの成長ができたのも、保護者の皆様が子供たちが学校で力を発揮できるように支えてくださったお陰です。また、地域の方々にも、子供たちを温かく見守っていただき、授業支援や読み聞かせ等をしていただきました。心より御礼申し上げます。

さて、明日からは子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは家庭や地域が子供たちの学びの場となります。思い出に残る夏休みが過ごせるよう、これまで同様、ご支援をよろしく申し上げます。



【5月の挨拶運動の様子】



【日常のもくもく掃除の様子】

家族と過ごす絶好のチャンス！ 普段できないことに挑戦する夏休みに！

国立青少年教育振興機構の「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」という報告書(H29年)には、「子供の頃、家族の愛情・絆を基盤に、遊びに熱中するなど様々な体験をした人ほど、自己肯定感が高く、へこたれない大人になる」とあります。

夏休みは、家族で普段できないことに挑戦できるよいチャンスです。例えば、一作品・一研究に少し長い時間をかけて取り組む、学校から配布された作品募集にいくつか挑戦する、家族でキャンプにてかけ自然の中で遊ぶ、好きな〇〇に没頭する等、子供の特性や家庭環境に合わせて工夫してみてください。その際、保護者の皆さんも子供と一緒に(子供以上に)楽しみましょう。親が熱中していることには子供も興味をもちやすいものです。お仕事の都合でなかなかお休みが取れない方もいらっしゃるかもしれませんが、家でできることをインターネットや本等で子供と一緒に探すのもいいかもしれません。そんな時間も、「親が自分のために一緒に考えてくれた」よい思い出となるはずです。ぜひこの夏休みに、家族で様々な体験をし、皆さんの心に残る思い出がたくさんできると素敵ですね。

8月末に笑顔で夏休みの思い出を話してくれる子供たちに会えるのを楽しみにしています。